

令和6年度 信学会東堀こども園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

子どもたちの笑顔があふれるこども園

～子どもたちが「考え、集い、より良い生活・遊びをつくりだせる」園を目指して～

1. 本年度の大切にしたい活動

1. 思いやりをもって「ひと・もの・こと」と関わり、友と伝え合う活動
2. よく考え豊かに創造して表現し、自分らしさを発揮する活動
3. 生活と関わらせ、野菜などを育てていただく食育の活動

2. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

3. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・子どもたちの活動の様子をみて、生き生きと過ごしていることが分かった。
- ・年長クラスは、小学校を見越しての取り組みがなされていて良かった。
- ・わくわくの日やクッキング、コンサート等いろいろな経験をさせてもらい、子どもたちが楽しく通えている。
- ・防犯カメラ等、セキュリティが年々強化されていて、細心の注意を払って対策していることが分かった。
- ・職員の自己評価にもあったが、職員の連携をしっかりとれるようになれば、先生も子どもももっと過ごしやすくなると感じた。

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・地域・保護者の理解協力のおかげで、子どもたちも様々な経験をすることができた。次年度も連携して園運営を推進したい。
- ・一人ひとりの子どもたちが安心して楽しいと思えるようにするためには、一人ひとりの子どもの気持ちにゆくりと寄り添い、柔軟な理解が大切であることを改めて感じた。職員全員がそのことを理解し関わっていけるよう、来年度は職員研修等を活用し『共通理解』や『職員の資質向上』に努めたい。